

殺菌剤

パッチレート®

有機銅塗布剤

有機銅を配合、
塗ったところがわかりやすく
切り口からの病害菌の侵入を
防止します。

りんご
腐らん病



なし
胴枯病



- 樹幹病害(腐らん病、胴枯病など)を防除!
- 剪定時などの傷口ゆ合促進に!
- 切り口にはけで塗るだけ!

パッチレート



無処理



対照剤



更に
使いやすく
なりました!



直接塗れるチューブタイプ



2004年 日本農薬(株)〔社内試験〕

〈写真はイメージです〉

®は日本農薬(株)の登録商標

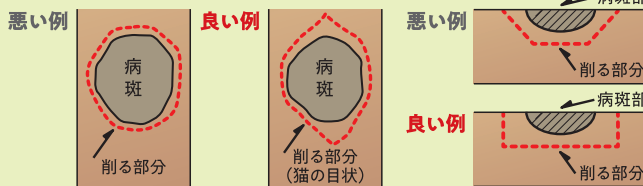
特長

- ① りんごの腐らん病、梨の胴枯病などの防除剤としてすぐれた効果を発揮する。
- ② 病患部の削り跡や剪定の切口に塗布すると、傷口のゆ合を促進する。
- ③ 樹幹病害の再発を防ぎ、切口からの雑菌類の侵入を防止する。

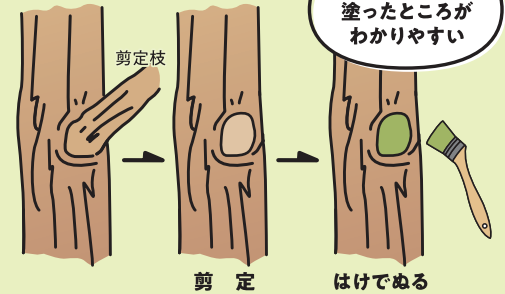
上手な使い方

① 病患部の削り取り直後

病患部削り取り後に処理する場合、最大のポイントは、病斑部を正しく削り取ることです。削り取りが不十分な場合には、塗布剤を処理しても再発する可能性がありますので、下記の図のように正しく削り取って下さい。



② 剪定時



適用病害虫及び使用方法

2023年9月適用拡大

2023年9月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	有機銅を含む農薬の総使用回数	
りんご	銀葉病、赤衣病、腐らん病、傷口のゆ合促進	原液	剪定時及び病患部削り取り直後	3回以内	剪定枝の切口、病患部の削除あとに塗布	7回以内(塗布は3回以内、散布は4回以内)	
なし	胴枯病、傷口のゆ合促進					12回以内(塗布は3回以内、散布は9回以内)	
ぶどう	傷口のゆ合促進			7回以内(塗布は3回以内、散布は4回以内(但し、開花後は1回以内))			
かんきつ(みかんを除く)	傷口のゆ合促進、幹腐病			3回以内		3回以内	
みかん				5回以内		5回以内	
かき、もも	傷口のゆ合促進			-		-	8回以内(塗布は3回以内、散布は5回以内)
うめ							3回以内
おうとう							6回以内(塗布は3回以内、散布は3回以内)
マンゴー							1回
樹木類(あじさい、えぞまつ(苗木)、とどまつ(苗木)、せんりょう、まつを除く)							-
あじさい							5回以内
えぞまつ(苗木)							2回以内
とどまつ(苗木)							8回以内
せんりょう	4回以内						
まつ	4回以内						

注意事項

- ・使用に当たっては、乾燥による固まりを防ぐため、ふたを外した状態で放置せず、確実に装着してください。
- ・使用直前によく攪拌し原液をそのままハケ等で塗布してください。
- ・りんご、なしに対しては病斑を見つけ次第病患部を大きめに完全に削り取りその傷あと及びその周辺に十分塗布してください。又、せん定、整枝時や環状はく皮等による切口に予防的に塗布してください。
- ・使用後のハケはそのまま放置せず、水でよく洗ってください。
- ・かきに使用する場合、富有、松本早生富有などでは効果が劣る場合がありますので注意してください。
- ・うめでは1年生切り戻し部への塗布により、枯れ込みが助長される場合がありますので注意してください。
- ・眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ・使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- ・街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ・容器の洗浄水、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○小児の手の届くところには置かないでください。

レイミーの農業チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!



日農ホームページ



NICHINO

日本農薬株式会社

東京都中央区

京橋1丁目

19番8号

TEL: 0570-09-1177 URL: <https://www.nichino.co.jp/>

2023年9月作成版 (TS)AT12309S